



よこはま

2018年 10月17日

第 212 号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市技能文化会館 402号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也
編集責任者 高橋 直樹・柴田 康光



高橋議長から林横浜市長へ要請書を渡す(手交式)

引き続き行われた重点政策の説明では、加藤議長代行から、格差社会問題と安全安心な街づくりを視点に、①フードバンク、

横浜地域連合高橋議長は「横浜地域連合は『働くことを軸とする安心社会の実現』をめざし、政策・制度要求の実現に向けて取り組みを進めてきた。最も力を入れている取り組みは、拡大する格差社会を是正すること。このようなどきだからこそ、行政の役割として、社会的なセーフティネット機能の強化が求められている。提言は各地区連合、産別、構成組織から出された意見を盛り込み53項目の課題について取りまとめた。政策実現に向けて誠意ある対

応をお願いする」と挨拶した。林横浜市長は「あらゆる政策の土台となる中期の中期4か年計画について、今まさに策定を進めているところである。中期計画の策定は3度目、予算編成は10度目になる。この間、待機児童対策をはじめとする子育て支援、教育や防災施策の拡充などを進め、賑わいづくりや企業誘致などの経済活性化策でも、着実に実績を積み重ねてくることで、格差の拡大や企業の人手不足など新たな課題も生まれている。甚大化する災害への備えも、喫緊の課題である。これからも真摯に、市民生活と地域経済の足元を見つめ、必要な手立てをしっかりと講じていく」と挨拶した。

の取り組み、②ハマ弁の利便性向上にむけた取り組み、③災害に備える横浜市強靱化地域計画について確認をした。林市長から「フードバンク、ロス削減と社会貢献につながる活動である。市内での認知度を高め、普及に取り組みしていく。ハマ弁は夏季休業明けよりリニューアルを段階的に進める。献立内容の充実、当日注文の試行、一括注文の導入、温かいおかずの提供や利便性向上の取り組みも試行していく。強靱化地域計画は、安全で安心して

「安心・安全・安定の市政」「住みやすい横浜」をめざして「2019年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出

横浜地域連合は、7月26日(木)高橋議長以下、五役・地区連合代表、政策委員の出席により、連合神奈川とともに「2019年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出した。

横浜地域連合は「2019年度に向けた政策・制度要求と提言」に関わり、道路交通課題を中心に、県議団に改善要望の実現に向けて、要請行動を行った。

2つの県議団へ要請行動を実施!!



計屋県議へ要請書を渡す的場議長代行

9月13日には、立憲民主党・民権クラブ神奈川県議会議員団へ要請行動を実施した。横浜地域連合からは的場議長代行をはじめ五役、各地区連合代表者、政策委員が参加した。立憲民主党・民権クラブ県議団からは、山口裕子副団長が説明した。

9月18日には、かながわ国民民主党・無所属クラブ神奈川県議会議員団への要請行動を行った。横浜地域連合からは高橋議長をはじめ五役が参加した。かながわ国民民主党・無所属クラブ県議団からは、戸塚区選出の曾我部久美子団長をはじめ、藤沢市選出の齋藤県議と逗子葉山選出の近藤県議が参加した。高橋議長と曾我部団長の挨拶の後、要望



曾我部団長へ要請書を渡す高橋議長

民権フォーラム横浜市議員団への要請行動を行う!



川口団長へ要請書を渡す高橋議長

8月8日(水)、横浜地域連合は「2019年度に向けた政策・制度要求と提言」の実現に向けて、高橋議長以下五役、地区連合代表者、政策委員で民権フォーラム横浜市議員団への要請行動を行った。

要請行動には民権フォーラム市議会議員団から20名が出席し、望月高徳政調会会長の進行で進められた。はじめに高橋議長から川口たまえ団長に要請書を提出し、「要求と提言」の概要について柴田事務局長代理が説明を行った。続いて意見交換が行われた。こども食堂の役割やフードバンク・フードドライブについて、外国人雇用の現状について、中学校昼食に関わる課題についてなど、「政策・制度要求と提言」の実現に向け、意見を交わした。

政策の実現に向け、改めて横浜地域連合と民権フォーラム市議会議員団との連携を強化することを確認し、要請行動を終了した。

2018ピースウィーク行動

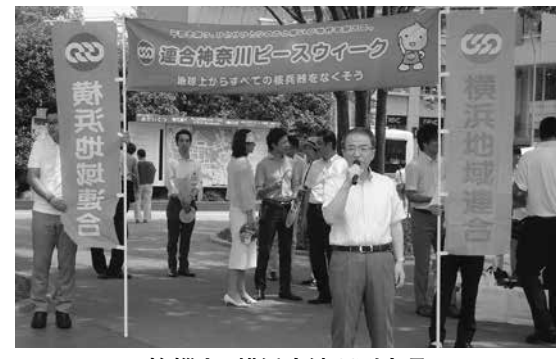
ー2020年までに地球上からすべての核兵器をなくそうー

8月4日(土)、JR桜木町駅前広場において「2018ピースウィーク行動」を実施した。猛暑の中、高橋議長はじめ五役、横浜市から渡辺副市長、立憲民主党と国民民主党の各級議員および核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生平和大使が参加した。

連合神奈川と横浜地域連合では、広島・長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われたこの時期を「ピースウィーク」と位置づけ、毎年「連合神奈川ピースウィーク行動」を実施している。

高橋議長からの主催者代表挨拶、渡辺横浜市副市長からの挨拶では、平和の大切さを訴えるとともに、「一日も早く戦争や核兵器のない世界をつくらう」と呼びかけた。

その後のマイクリレーでも、立憲民主党と国民民主党の各級議員から、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を実現するための訴えが行われ、五役や議員を中心に「連合神奈川ピースウィーク」のロゴ入り丸うちわの配布も同時に行った。さら



挨拶する横浜市渡辺副市長



署名を呼びかける高校生平和大使と高橋議長

2018 防災・減災のつどいを開催

～西日本豪雨被災支援カンパも実施～

災害発生時の在宅避難に備えて、食料品や日用品を少し多めに備えておきましょう!

日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、災害時に自宅で生活することが可能となります。常に最小限備えるべき品目・量を保ちながら、多めに備えているものを日常の中で消費していくため、特別な準備は必要ありません。このような考え方を「ローリングストック」といいます。

ローリングストックのイメージ
食糧や日用品を少し多めに購入、日常生活で消費

災害時に特に必要なもの
カセットコンロ、ラテックス手袋、懐中電灯、充電式ラジオ、多量(7リットル)の携帯トイレ

主な備蓄品例 自分の家庭にあったものを備えましょう!

食品	<input type="checkbox"/> 水(飲料用、調理用等) <input type="checkbox"/> 無洗米、レトルトご飯、乾麺 <input type="checkbox"/> 缶詰(肉、魚、野菜、果物等) <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 野菜ジュース <input type="checkbox"/> ペットボトル入り清涼飲料 <input type="checkbox"/> チーズ、かまぼこ等 <input type="checkbox"/> 菓子類 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品、健康飲料粉末 <input type="checkbox"/> 調味料
生活用品	<input type="checkbox"/> 大小ビニール袋 <input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> 防寒ラップ <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> トイレシートペーパー <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> メガネ、使い捨てコンタクトレンズ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 乾電池
女性	<input type="checkbox"/> 生理用品
乳幼児	<input type="checkbox"/> 粉ミルク(アレルギー対応等) <input type="checkbox"/> 離乳食(アレルギー対応等)
高齢者	<input type="checkbox"/> おかゆ等やわらかい食品 <input type="checkbox"/> 補聴器用電池

各ご家庭の家族構成や生活様式をふまえた品目を少し多めに備えましょう。詳しい備蓄品目等の参考例は防災首都圏ネット(九都府HP)をご覧ください。
<http://www.9tokenshi-bousai.jp/>

9月1日(土)、横浜地域連合はJR桜木町駅前広場において「2018防災・減災のつどい」を実施した。高橋議長はじめ五役、各地区連合役員、立憲民主党と国民民主党の各級議員など約40人が参加した。今年度は街頭活動形式で、災害発生時の在宅避難に備えて、食料品や日用品を備蓄しておくことを呼びかけるチラシをティッシュとともに配布し、災害に対する備えを呼びかけた。



主催者代表挨拶をする高橋議長

西日本豪雨災害支援カンパを呼びかけ

防災・減災のつどいに合わせて、西日本豪雨災害支援カンパも実施した。1時間あまりの活動であったが、38,320円が集まった。



参加者の集合写真

今年は大阪北部地震、西日本豪雨、台風災害、北海道胆振東部地震と全国各地が被害に見舞われた。いっどこで起こるかわからないのが自然災害。今後も横浜地域連合では防災・減災のつどいを通じて、防災・減災に対する意識づけ、備えの大切さを市民の皆様へ訴えていく活動を継続していきたく考えている。

コラム「るーぷ」

私は会社の硬式野球部に所属して練習に耐え頑張っていました。練習に耐え頑張っていたことを記憶してあります。さて、現役当時は、勝つためにチームワークに徹し、時には心を鬼にして仲間との鍛錬方法を鍛えられた。その例に挙げると、仲間との目標や約束・時間を守るといふ団結力、大きな緊張は仲間と共有してそれをバネにする集中力、良いとき悪いときなど変化に対応した行動がとれる判断力などがあります。どれもが今の社会生活の基礎となつていきます。労働運動も、組合員の幸せづくり、という大目標があります。これからも、様々な経験を生かして、昼も夜も労働運動に邁進してまいります。

横浜地域連合議長代行
加藤 健之

column "Loop"